

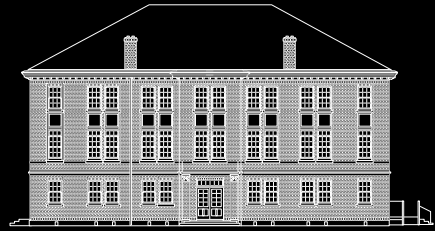
# News

西南学院大学博物館ニュース

Volume **33** 2017.12

西南学院大学

所蔵品紹介	【日本キリスト教史】「紙踏絵」
聖書植物園紹介	オリーブ
博物館通信	せいなんワークショップ「クリスマスカードをつくろう!!」ほか
特別展紹介	2017年度 博物館秋季特別展「キリスト教の祈りと芸術」



## 所蔵品紹介 特集

【日本キリスト教史】

# 紙踏絵

Fumi-e

日本 / 20世紀 / 紙製

1612(慶長17)年に徳川家康がキリシタン禁令を発して以来、江戸幕府は度重なる禁令を出し、キリシタンを弾圧しました。その中でも絵踏は1629(寛永6)年頃から行われたとされています。絵踏とは役人の前でキリスト像や聖母マリア像の図像(踏絵)を踏み、キリシタンではないことを証明する行為のことを指します。当初、踏絵は紙製のものが使用されていました。しかし、耐久性の問題などでやがて木製の踏絵(聖像などを木枠で囲ったもの)が登場し、最終的には真鍮製が造られるようになりました。真鍮踏絵は1669(寛文9)年に長崎の仏師であった萩原祐佐によって、20枚製作されたといわれています。これらの踏絵は長崎奉行所の宗門蔵で管理されていました。いくつかの藩は、自領で踏絵を持つことを許されましたが、絵踏を行っていた九州諸藩のほとんどは、長崎奉行から踏絵を借用していました。

紙踏絵については長崎や熊本藩領で実施されていました。『文献雑録』には、熊本藩は絵踏の道具として紙踏絵を用いていたが、古くなり破れたので板踏絵を使用した、という記録が残っています。

本資料には文政元年という年号やキリストの表記、IHS、藤巴紋(黒田家の家紋)、「切支丹破天連ヲ踏マザル者獄門ノ事」・「扇城吟社之章」・「大日本国筑前国上座郡志波村里城」などが印字されています。藤巴紋や「大日本国筑前国上座郡志波村里城」より、この紙踏絵は福岡藩



庁で印刷され、筑前国上座郡志波村(現福岡県朝倉市杷木志波)にて保管されていたということがわかります。しかし、福岡藩で絵踏を正式に行ったという記録は、現在のところ確認されていません。また、藤巴紋が付された紙踏絵を「踏む」という行為は、黒田家をも「踏む」ということになり、このことから実際に福岡藩領で使用されていた可能性は低いと考えられます。一説には、この紙踏絵は明治期以降に長崎の版画製作者が、外国人向けの「お土産」として製作したものではないかといわれています。

学芸調査員 中禮 尚史



SEINAN GAKUIN  
1920

聖書植物園紹介 ⑨

## 聖書植物園の「オリーブ」

聖書植物園 HP <http://www.seinan-gu.ac.jp/shokubutsu/>



【聖句】「鳩は夕方になってノアのもとに帰って来た。見よ、鳩はくちばしにオリーブの葉をくわえていた。ノアは水が地上からひいたことを知った。」(創世記8:11)

オリーブは、聖書の地の七産物の一つです。聖書の地の七産物とは、小麦、大麦、ぶどう、いちじく、ざくろ、オリーブ、そしてナツメヤシであり、これらは七つの祝福とも言われます。これは、神がイスラエルの民を導く場所に、これらが豊かに実るといふ聖書の記述(申命記8章)に基づいています。

ノアの方舟の物語として知られる『創世記』6-9章では、鳩がオリーブの葉をくわえて舟にもどって来たことで、神の怒りが静まり、地上から水が引いたことが示されています。

オリーブは聖書の風景を代表する樹木です。イエスは、弟子たちと最後の晩餐を共にした後、エルサレムの近くのゲッセマネの園に、ペテロとゼベダイの子ヤコブとヨハネを連れて来ました。そして、そこから石を投げて届くほどの所へ退いて、一人ひざまずき、天に祈りました。(マタイ 26:36-46, マルコ 14:32-42, ルカ 22:39-46)

ゲッセマネは、エルサレムの城壁東辺に近い、キドロン谷をはさんだオリーブ山の麓にありました。ヘブライ語の「ゲッセマネ」は「油搾り」を



オリーブの実



「トリノミラノ時祷書」より『オリーブ山のイエス』(部分)  
フランス/14~15世紀/トリノ市立古典美術館所蔵本

意味します。ゲッセマネの園と呼ばれる場所には、搾油のための施設がありました。ゲッセマネの園とされる最も有力な候補地では、樹齢2000年に達するとも言われるオリーブが今日でも実をつけています。

【和名】オリーブ  
【英語名】olive  
【学名】*Olea europaea*  
【所在】1号館南

学芸調査員 宮川 由衣



## 博物館通信

### 2017年度博物館実習成果展「つながる・つなげる・つないでいく #かわいいを結んでいく」

西南学院大学博物館では2017年度博物館実習の一環として、8月26日から10月27日にかけて博物館実習成果展「つながる・つなげる・つないでいく #かわいいを結んでいく」を開催しました。博物館実習成果展は、実習生による当館の資料を使用した企画展です。

今年度は、7名の実習生たちが自分たちで決めたテーマのもとに企画書の作成や資料調査、開催概要や解説パネルの作成、ポスターやキャプション作り、特別展示室の設営までの企画展作業に取り組みました。今回の実習成果展は当館が所蔵するユダヤ、キリスト教関連の資料を実習生が「かわいい」をテーマに厳選し、その歴史と文化についてより身近に感じ、楽しく学ぶことを目的とした展示です。そのためポスターやキャプションについても、今回のテーマに合ったデザインになるよう細部までこだわりました。さらに、展示室内に一部撮影

可能コーナーを設け、Instagram等のSNSを活用できる環境をつくることによって、展示された資料を見るだけで終わるのではなく、より多くの人と情報や感想などを共有できる新たな博物館の楽しみ方を提案しました。

この実習成果展開催を含む博物館実習によって、「学芸員の眼」を養い、博物館の世界をより深く、より広い視野で見つめるきっかけとなりました。実習生一丸となって取り組んだ博物館実習の成果をみなさまにご紹介できて幸いです。

学芸調査員 西山 萌



2017年9月から11月までに行った博物館活動や出来事の中からいくつかをご紹介します。



11月17日(金)～11月18日(土)  
特別展ガイドツアーを開催しました。



11月25日(土)  
第22回特別展関連公開講演会を開催しました。



2017年度 西南学院大学博物館秋季特別展

# キリスト教の祈りと芸術 — 装飾写本から聖画像まで —

会期／2017年 11月13日(月)  
 ～2018年 1月29日(月)  
 ※1月21日(日)は開館(13:00～17:30)

会場／西南学院大学博物館特別展示室、2階講堂

主催／西南学院大学博物館

後援／福岡県・福岡市・福岡県教育委員会・  
 福岡市教育委員会・福岡市文化芸術振興財団



開催概要

祈りという行為は、あらゆる宗教において重要な儀式です。キリスト教では、祈るために、祈りの言葉が記される聖書や祈祷書、そしてイエス・キリストや聖母マリアを描いた聖画像などの様々な道具が生み出されました。それらは、信仰の証として、ときには所有者の権力の象徴として豪華に装飾され、なかには高い芸術性を有するものもあります。世界に展開するキリスト教圏では、道具を彩る装飾様式の変遷が、ひとつの芸術の歴史を物語ります。

本展覧会では、キリスト教の歴史的な流れとともに、世界各地で制作された祈りの道具をご紹介します、その芸術性に込められた意味や役割について理解を深めていただければ幸いです。

展示構成

第1章 信仰の芸術—聖書写本と祈祷書

- 1節 聖なる書
- 2節 祈りの書

第2章 思想の広がり—印刷技術の発明と改革

- 1節 活版印刷と宗教改革
- 2節 対抗宗教改革と布教活動

第3章 受容のかたち—世界の聖画像

- 1節 東方正教会の聖画像
- 2節 布教活動と聖画像

関連イベント

参加無料

## 特別展ガイドツアー

日時／11月17日(金)・18日(土)  
 ①11:30～12:00 ②15:30～16:00  
 会場／西南学院大学博物館 2階講堂

申込み不要

## 第22回特別展関連公開講演会

講師／鐸木 道剛氏(東北学院大学文学部総合人文学科教授)  
 「〈もの〉としての聖書、〈もの〉としてのアイコン」

日時／11月25日(土) 13:00～14:30  
 会場／西南学院大学博物館 2階講堂

申込み不要

## せいなんワークショップ

### 1 クリスマスカードをつくろう

日時／12月16日(土) 14:00～16:00  
 会場／西南学院大学博物館

要申込み

「氏名」「年齢」「メールアドレス」「電話番号」を記入の上、12月8日(金)までに [seinanmuseum@yahoo.co.jp](mailto:seinanmuseum@yahoo.co.jp) へ送信してください。

### 2 クリスマスツリーを飾ろう!

日時／12月1日(金)～12月23日(土)  
 会場／西南学院大学博物館 1階エントランス

申込み不要

## 行事予定

2017(平成29)年12月～2018(平成30)年3月

### 【特別展／企画展】

11月13日(月)～2018年1月29日(月)

2017年度秋季特別展

「キリスト教の祈りと芸術-装飾写本から聖画像まで-」

[場所] 西南学院大学博物館1階特別展示室、2階講堂

9月29日(金)～2018年2月23日(金)

國學院大學博物館相互貸借特集展示XVII

「東北の遠の朝廷-城柵による辺境支配-」

[場所] 西南学院大学博物館1階常設展示室

8月19日(土)～12月7日(木)

南島原市相互貸借特集展示IX

「幕府軍が見た島原・天草一揆-延岡藩主有馬直純の陣跡-」

[場所] 西南学院大学博物館1階常設展示室

2018年2月1日(木)～3月31日(土)

2017年度企画展

「西南学院とW.M.ヴォーリズ」

[場所] 西南学院大学博物館2階講堂

### 【ワークショップ】

12月16日(土) 14:00～16:00

「クリスマスカードをつくろう」

[会場] 西南学院大学博物館

12月1日(金)～12月23日(土)

「クリスマスツリーを飾ろう!」

[場所] 西南学院大学博物館1階エントランス

行事予定は日程、内容等を変更する場合がございます。

## 西南学院大学博物館

SEINAN GAKUIN UNIVERSITY MUSEUM

〒814-8511 福岡市早良区西新3丁目13番1号  
TEL.092-823-4785 FAX.092-823-4786 / 博物館事務室  
URL <http://www.seinan-gu.ac.jp/museum/>




### ●開館時間のご案内

開館時間 / 10:00～18:00(入館は17:30まで)

休館日 / 毎週日曜日、夏季休暇[8/10～8/16]

キリスト降誕祭[12/25]、年末・年始[12/28-1/5]

入館料 / 無料

 [seinamuseum](https://www.facebook.com/seinamuseum)  [@seinan\\_museum](https://twitter.com/seinan_museum)  [@seinan\\_museum](https://www.instagram.com/seinan_museum)

## 来館者掲示板

### 【来館者の言葉】

見応えのある展示でした!解説も分かりやすく、印象に残りました。ありがとうございます。(2017年9月)

3年ほど前転勤でこちらに移ってきてから、ずっと気になっていた場所の一つでした。次は子供もつれてこれたら、と思います。(2017年9月)

毎年9月に映画祭の為に福岡にきていたのですが、こちらの博物館のことを知りませんでした。國學院の博物館で知り、今年はずっときてみました。とても興味深い展示でした。また、来年きます!(2017年9月)



皆様からお寄せいただいたコメントを見ると、海外や県外から足を運んでくださった方が多数いらっしゃいました。様々な所で当館のことを知っていただけているようで、とても嬉しく思います。さて、11月13日(月)から秋季特別展「キリスト教の祈りと芸術」が開催されています。スタッフ一同、心よりご来館お待ちしております。

学芸調査員 鬼東 芽依

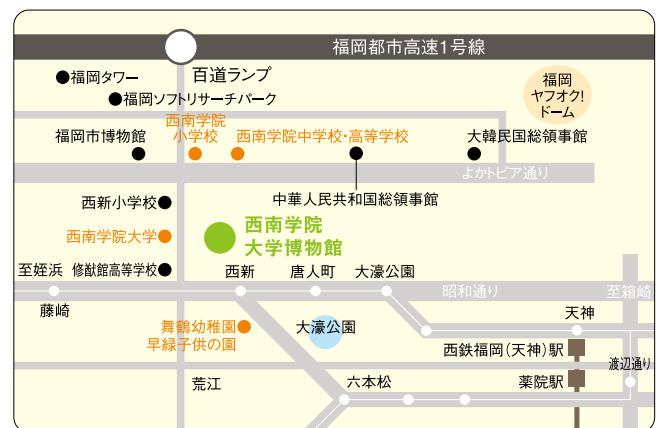
### 編集後記

今回は2018年6月の刊行となります。それでは皆様、また来年お会いいたしましょう! Merry Christmas and Happy New Year!!

学芸研究員 山尾 彩香

## アクセスマップ

### ACCESS MAP



地下鉄

福岡空港 → 西新駅下車...約17分  
博多駅 → 西新駅下車...約12分  
天神 → 西新駅下車...約8分  
※地下鉄西新駅(③番出口)から徒歩5分



バス

博多駅バスセンター → 修猷館前...約35分  
天神 → 修猷館前...約20分  
※修猷館前バス停から徒歩5分



タクシー

福岡空港(福岡都市高速・百道ランプ) → 大学...約25分  
博多駅(福岡都市高速・百道ランプ) → 大学...約20分  
天神(福岡都市高速・百道ランプ) → 大学...約15分